

令和7年実施(現中学2年生以降の)入試制度変更について



進路・キャリア通信 ~ 道を拓く ~



2023.9.5(火) 13号 与那原中学校 進路・キャリア担当

8月14日に行われた県立学校入学者選抜実施要項等説明会において、現中学2年生以降の入試制度変更について説明がありました。三者面談で、前年度までの資料については周知していますが、今回、「(令和7年3月実施)令和6年度入学者選抜出願手続(想定案)」が加わりました。生徒一人一人にアカウントが配付され、生徒自身で出願登録を行う、Web出願についての流れが示されています。今後、生徒への説明とともに、情報が更新され次第、保護者の皆様にもお知らせする予定です。

推薦入試から特色選抜へ

県立学校教育課

「特色選抜」の目的

志望学科への興味や関心及び適性を有する者を選抜するという、これまでの推薦入試の趣旨を今後も継承しつつ、生徒が主体的な学びに向かう力の育成と中学校までの基礎学力の確かな定着を図り、特性や個性の一層の伸長につながる選抜とする。

現行の推薦入試の課題

沖縄県高等学校入学者選抜制度のあり方について(報告書)より
平成30年12月 沖縄県立高校入学者選抜制度改革に関する検討委員会

- ◆ (現行推薦入試制度は) 早期合格の手段としての傾向が強く、本来の趣旨が活かされていないとの懸念
- ◆ 推薦合格内定者の一部に、その後の学習意欲の低下が見られ、一般入試に向けた学習環境に影響を及ぼすこともあり、義務教育段階の学習内容の確実な定着に課題
- ◆ 各中学校によって推薦基準が異なることによる不公平感の指摘

「特色選抜」の基本方針

① 生徒が自ら出願できる NEW

- 学校推薦ではなく、生徒本人による出願とすることで、意欲的な学習の態度や主体的な進路決定を促す。

② 生徒の特性や個性を伸ばす UP

- 受検生の志望校を決定するための資料として、各学校・学科の特色をより明確に示すための「育成したい資質・能力」や「目指す生徒像」を作成する。

③ 学力検査を全員受検する NEW

- 義務教育段階の学習内容の確かな定着を図る。

④ 受検機会をこれまでどおり確保する

- 現行では推薦入試と一般入試で最大2校へ出願する機会があり、受検機会を維持する。

※ICT活用を推進する NEW

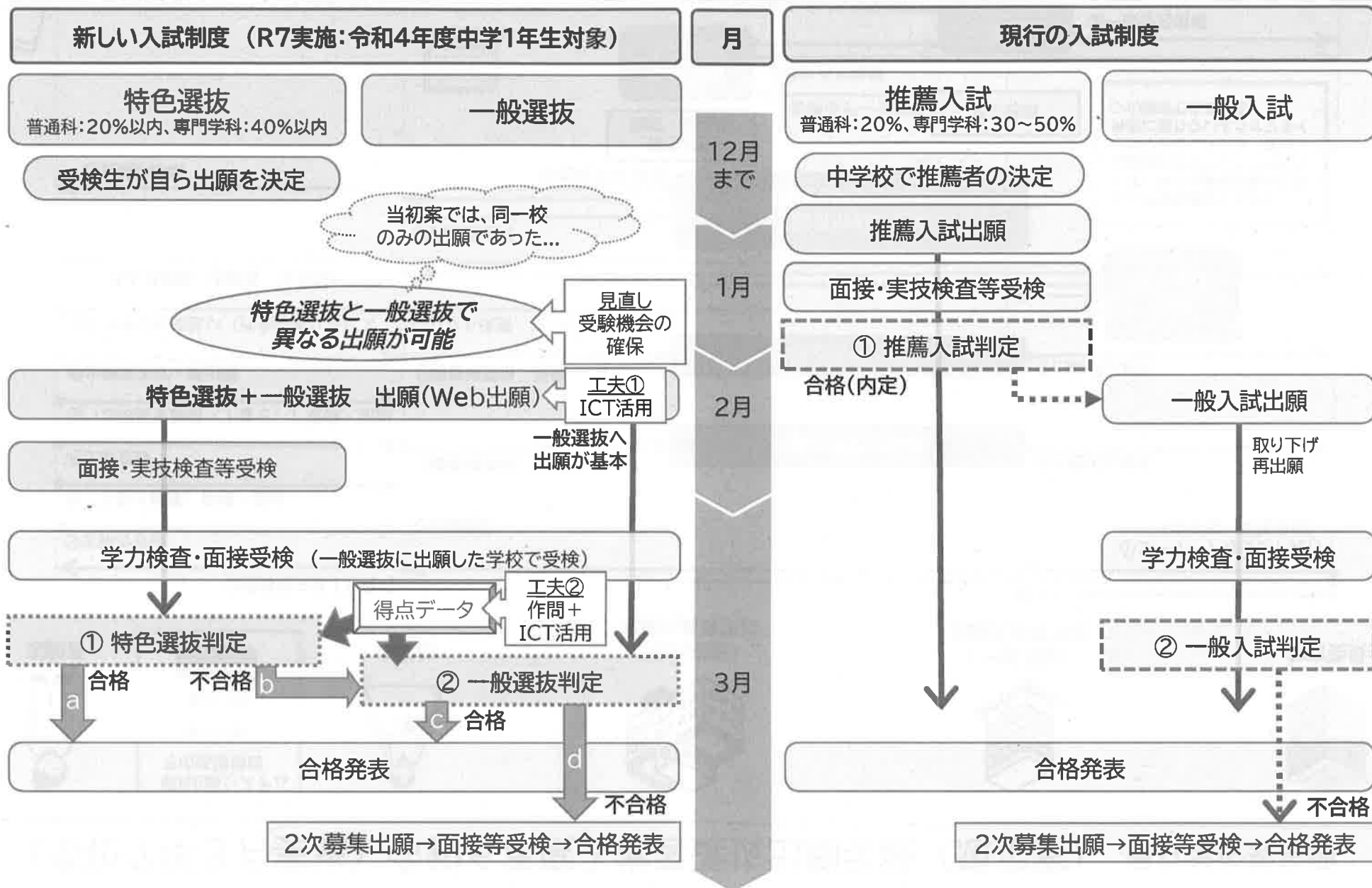
- 出願システムや採点業務の効率化、複雑化する処理データの一元化等が必要となる。

スケジュール(予定)

年度(学年)	R3(小6)	R4(中1)	R5(中2)	R6(中3)
取組事項		「育成したい生徒像」の作成・配布		
		説明会 ← 学校等関係者	説明会 ← 生徒・保護者	実施要項決定
			説明会 ← 受検希望者	R7 2月 実施

特色選抜について - 入試制度はどのように変わるのか -

県立学校教育課



(令和7年3月実施) 令和6年度入学者選拔出願手続 (想定案) 県立学校教育課



- 43 -

